

二冊の本

(砲術学校の思い出の中から)

西岡 豊 弘

四畳半の書庫の一隅に赤茶色のしみだらけの二冊の本がある。共に春秋社刊で一冊はトルストイの「人生論」「人間何をなすべきか」昭和二十年四月、鎌倉の古本屋で求めたものであり、もう一冊はクローチェの「美学」、終戦時に砲術学校の図書室から教官の許可を得て頂いたものである。

私達が海軍砲術学校長井分校に入校したのは昭和二十年四月、サイパン島、硫黄島が玉碎し、三月十日の東京大空襲を皮切りに本土への激しい攻撃が開始された時期であった。本土上陸に備える観点からか午後は連日陸戦の訓練で、丘を切り開いた広い練兵場を武装して駆け、這い、戦車への肉迫攻撃、一キロも汗まみれ泥まみれ匍匐前進しての斬込み訓練等、激しいものであった。幸い私は人並以上の脚と心臓に恵まれていたためか、肉体的にはさして苦痛を感じていなかった。しかし縋りかえされる空襲と、洩れ伝わってくる戦況は、重苦しく私達の上にのしかかっていた。私達には若干反軍的な意識があり、屢々軍や学校への批判や、時局の推移についての議論をしたものだが、最後には自らの無力に思い到り「やはり、二十

五まで生きられたらよい方か」とか「戦争はいずれ終る。次にはどのような時代が来るのだろうか……生き延びてそれを見たい」といつて溜息をついたりした。

私は最初の外出日に鎌倉に行った。中学時代からやや文学趣味の私は、日本文学は勿論、トルストイ、ドストエフスキー、ツルゲネフ等のロシア文学、ジイド、ヘッセ等の作品をも読み耽っていた。平家物語、義経記、太平記あるいは修善寺物語の舞台の一つである鎌倉周辺には大いに関心があり、その後も度々訪れて史蹟寺院等を歩きまわった。八幡宮から長谷観音への道には何軒も古本屋があり道路にはみ出して書籍が山のように積まれていた。店の人の話では東京大空襲の後、書籍が大量に出まわったとの事だった。厳しい言論統制と原紙不足のため、読みたい本に接することは甚だ困難な時代であった。私は夢中で本の山を漁り何冊かの本を買入れた。そのときの一冊がトルストイのこの本であり、表紙の裏側に鉛筆で一円五十銭と記されている。扉に訳者の言葉があった。「人はただ一本の葦に過ぎない。大自然のうちで最も弱いものである。だが物を考ふる力ある葦である……たとひ宇宙が彼を圧潰するに至ったとしても人は依然として彼を殺すものよりも高貴なものであったことであろう。何故なれば、彼は自分の死ぬことを知っているからである」(パスカル)。「二つのものがある。余の頭上の星斗燦たる大空と、余が肉の道德律……前者は外的世界において余が占めている位置か

老人たちへの配慮は、全くお粗末と言わざるを得ません。農業者にしても、中小企業関係者にしても、実態は、政府の宣伝とは、かけ離れたものであることを、私達は現実に見ています。このような中で、教育が荒廃してくるのも当然です。

今、国会では、地方分権が取り上げられ、千葉市は政令都市として初めて、地方議員の選挙を迎えています。御存知のように、政令指定都市の市は、県と同等の権限を持ち、地方分権法が可決されれば、財政、許認可、税等、現在とは比べものにならない強い権限を持ちます。私達生活者の環境、福祉、教育等について、直接関与していくのが地方議会議員です。兎角の噂の絶えない千葉市に、地方分権法が実施された時には現在の国政以上の利権政治が横行し、生活者の権利が大きくそこなわれるかもしれないということは、決して杞憂ではありません。

このような観点から、サラリーマンとして、私達と同様な悲哀を体験し、その問題点の解決のための理念、政策、行動力を十分に保有される〇〇さんのような方を、是非とも市政壇上に送らねばならないのです。

今此处に集っておられる方々は、現在の政治家に絶望しその果てに、起ち上り、未来への希望を見出そうとしておられる方々だと思います。

新聞等の調査によると、国民の半分以上は、無党派層で政治に愛想をつかした人々だと言われますが、その中の多数は国家の中核ともいえるべき中堅サラリーマンが多数を占めています。

みなさん、この無党派層の人々の蹶起があれば、この戦いは必ず勝利すると確信します。目覚め起ち上ったみなさんの力で一人でも二人でも理解者、支持者を獲得して下さい。それが生活者の政治参加であり、迫力のある運動として千葉市の地方自治をすすめ、大きくは、日本国家の真の民主化への道に繋がるのだと思います。

出陣式に当って、みなさん方の蹶起に満腔の敬意を捧げると共に、あの新党運動、改革運動の熱気が再び千葉市の山野に充満することを強く強く念願するものであります。

〇〇さん、みなさん、勝機は我にあり、必勝を期して頑張ってください。天は、正当な理念に燃えた志を決して見捨てはしないでしょう。

元日本新党千葉市代表代議員

ボランティア政治連盟員 西岡豊弘